

## とかねっと夏季研修会アンケートの質問の回答

※一部、担当者で修正をしています。

質問	回答（案）
<p>(1) 二次障害の原因が家庭にあった場合、どのように保護者に対応したら良いか教えてもらったら助かります。</p> <p>また、困っている保護者への対応についても具体的事例を教えてくださいたいです。</p>	<p>家庭環境等含む実態の把握や必要に応じた関係機関との情報共有等を行った上で、保護者には最低限必要な療育の協力依頼を行ったり、学校等の具体的な協力体制を整えたり、その情報を保護者へ説明したりするなどの対応が考えられます。</p> <p>また、具体例は、それぞれの事例によって異なりますので、ここでは省略させていただきます。</p>
<p>(2) 講演の中で、「1日に1回失敗しよう」という課題についてのお話がありましたが、具体的にどのように声を掛けますか？</p>	<p>講義の中で講師がおっしゃっていましたが、「1日に1回失敗しよう」や「失敗しても良いからやっごらん」など、失敗を否定する表現ではない言葉掛けが考えられます。</p>
<p>(3) 私の担当している子は週に3、4回登校できるようになりました。不登校から抜け出しかけている期間、指導する上での方法も教えてくださいたいです。</p>	<p>不登校から脱しようとしているのであれば、指導に変化をつけず、現状の指導を続けて良いと考えられます。</p>
<p>(4) 不登校にはなっていないけれども見るからに無理をしている子、このまま行けば近い将来不登校または二次障害が予想される子にできる効果的な指導があれば教えてください。学校でできること、保護者へのアドバイスの両方で教えてくださいたいです。</p>	<p>学校でできることは以下のことが挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 実態の把握</li> <li>イ 保護者との情報共有</li> <li>ウ 子育て支援課等の行政機関を含む家庭を支える学校以外の関係機関とつながること 等</li> </ul> <p>保護者へのアドバイスは以下のことが挙げられます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 学校との情報共有</li> <li>イ 関係機関（同上）とつながること 等</li> </ul>
<p>(5) 最後に「教師としての力」「教師の地の力」についてのお話がありましたが、力を磨くための工夫があれば教えてくださいたいです。</p>	<p>この質問については、今回の講義をとおして、たくさんのポイントがありました。数多くありましたのでここでは省略させていただきます。ぜひ、講義を振り返っていただき、「教師の力」を磨くための工夫を見つけてください。</p>
<p>(6) 参考図書等があればおうかがいしたかったです。</p>	<p>FR 教育臨床研究所「書籍・論文の紹介」ページ (<a href="http://www.frkyorin.jp/book.html">http://www.frkyorin.jp/book.html</a>) を御参照ください。</p>